

事業者：味の素株式会社



流通合理化
事業活動

計画概要

1. 日本国内10カ所の在庫拠点間での長距離輸送において、現在実施しているモーダルシフトを維持・推進し、輸送の効率化及びドライバー不足による輸送量減少リスクの軽減を図る。
2. 在庫拠点間での輸送における、輸送ルートごとの積載率の抽出、低積載率の原因の特定を行い、輸送ロットサイズの変更や輸送回数の調整等を実施することで、1回あたり輸送量を増加させ、物流事業者及び荷受け時の倉庫作業者の負荷軽減を図る。

目標 令和8年4月～令和12年3月

1. 在庫拠点間での長距離（500km以上）輸送におけるモーダルシフト率を現状の98%から99%に向上させる。
2. 在庫拠点間での輸送における積載率を現状の85%から90%に向上させる。

食料システムへの寄与

1. ドライバーの負荷軽減を図りつつ、安定的な食品輸送を通じ、消費者がいつも通り商品を購入できる環境作りに寄与する。
2. 限られた輸送力で最大限の食品輸送を行う事で、物流事業者及び倉庫作業者の負荷軽減を図るとともに、消費者への安定的な商品提供に寄与する。

計画のイメージ



(2026年2月17日認定)